

# 野外炊事を安全にスムーズに行うためのポイント

## まきのわり方

※なたを持つ「わり手」とまきでたたく「たたき手」2人で行う。  
 ※指導員の説明を聞いてから活動を行う。



- **なたでわる「わり手」**  
 利き手は素手，反対の手は軍手を二重にする。
- **まきでたたく「たたき手」**  
 両手に軍手をする。  
 「まき」と「まきわり台」を運ぶ。  
 (隣とは4m離れる。)
- 職員の話聞く。



- ふしのないまっすぐなまきを6本運ぶ。
- ②～③を繰り返して，ダイコン8本からニンジンの太さ12本をつくる。
- ②～③を繰り返して，ニンジン4本から，ゴボウの太さ8本をつくる。

ゴボウ：8本  
 ニンジン：8本  
 ダイコン：残ったまき



- なたを両手でしっかり持ち，なたで「まき」をまっすぐに押さえる。
- 押さえたら「セット」とかけ声をかける。
- かけ声を聞いて「たたき手」は「OK!」といって「はい」のかけ声で「まき」の真上のナタを木に食い込むようにたたく。



- なたが食いこんだら，5cmほどの高さから「コンコン」とまきを打ちつけてわる。
- \*「まき」がわるる時に木が飛びちる。「たたき手」は「わり手」の後ろに立って待つ。

## 火のおこし方



## あとかたづけ

※ グレーキング（鉄の溝蓋）は，水でぬらさない，持ち上げない。

